










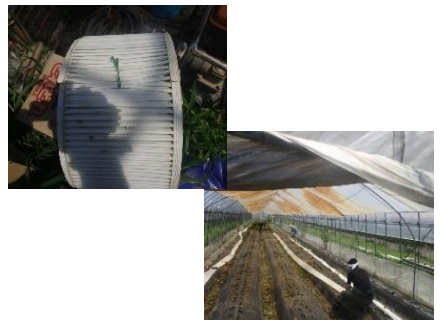



作業名	イチゴ畑の片付け①	作業期間	6月上旬
圃場位置	甲府市	作業環境	トイレ：圃場近くの公園 休憩場所：圃場近くの公園
利用者の声	○ハウス内の作業で晴れの日など暑かったが、みんなと一緒の外での仕事は楽しかった。		
農業者の声	○いろいろな農作業が立て込んでしまい困っていたので助かった。作業もきちんと行われていた。		
作業・支援内容			
①		○作業に入る前に、イチゴの株を引き抜き易くするため、灌水を止めハウスを締め切りにするなどして、イチゴの株を枯らしておく。 ○圃場によっては、イチゴ株を引き抜かず土と混ぜてしまう場合もあるので、支援者は園主と作業方法について良く打ち合わせをした。	
②		○マルチフィルムを抑えているすべての鋏を抜き回収する。 ○列ごとに担当グループを決め回収忘れがないよう確認しながら作業を行うようにした。ハウスの端を押さえている鋏は忘れがちなため特に取り忘れがないようにした。	
③		○イチゴの株を引き抜く。 ○株元のかたい部分は、埋めても分解せず残ってしまうため、マルチフィルムの穴の中に残っていないか確認するようにした。	
④		○イチゴの葉と株元をハサミで切り離す。 ○葉と株元と葉を切り離す時、葉の部分のみ切り離すことを徹底し、株元のかたい部分を葉の一部として処理しないようにする。ハサミの取扱については、安全に留意し、支援者が見守る中で作業をすすめる。	
⑤		○ハサミで切り離した葉は通路に捨てる。同じく切り離された株元はマルチフィルムの上に置く。 ○マルチフィルムの上に乗せた株元部分が作業中に通路に落ちていないか、全員で最後に確認した。	

作業名	イチゴ畑の片付け②	作業期間	6月上旬
圃場位置	甲府市	作業環境	○トイレ：近くの公園 ○休憩場所：近くの公園
利用者の声	○ハウス内の作業で暑かったが、みんなと一緒に頑張れた。続きの仕事もしたい。		
農業者の声	○作業もきちんといわれていた。続きの仕事もお願いしたい。		
作業・支援内容			
①		○マルチフィルムを抑えているすべての鋏を抜き回収する。 ○列ごとに担当グループを決め回収忘れがないよう確認しながら作業を行うようにする。ハウスの端を押さえている鋏は忘れがちなため特に取り忘れがないようにする。	
②		○マルチフィルムの縦に並んだ穴と穴とをカッターで切っていく。土を切るようなイメージでしっかりと切る。 ○カッターの切れ味がすぐに落ちるので早めに替え刃に交換した方が効率的。カッターの取扱については、安全に留意し、支援員が見守る中で作業をすすめる。	
③		○マルチフィルムを縦に3分割する。3分割したマルチフィルムはまとめて回収袋にいれる。 ○マルチフィルムを回収する際、イチゴ株に絡まった切れ端等も回収し忘れないように指示した。	
④		○マルチフィルムの下に設置してある灌水チューブもまとめて片付ける。灌水チューブは所によってピン等でとめてあるため、ピン等も忘れず回収するよう指示を出した。 ○支援者は、マルチフィルムや灌水チューブ等の片付け作業が終了したか全員で最後に確認ように指示した。	

作業名	イチゴ畑の片付け③	作業期間	6月上旬から中旬
圃場位置	甲府市	作業環境	○トイレ：近くのコンビニ ○休憩場所：圃場
利用者の声	○ハウス内は暑くて大変でしたが、仕事なので頑張りました。		
農業者の声	○想定していたより、きちんと作業を実施していた。		
作業・支援内容			
①		<p>○イチゴ株とマルチシートの撤去、灌水チューブをたたんで縛る、ストローマットの片付け等の作業。</p> <p>○利用者さんが担当する作業を割り振り、負荷のかかる作業については担当者を入れ替え身体的負担等に配慮して作業にあたった。</p>	
②		<p>○抜き取ったイチゴ株の移動は作業中の安全を考え一輪車で移動ではなく手作業とした。</p> <p>○廃棄場所への移動は一輪車を使用した。一人の担当となったが、支援者が声をかけながら、身体的及び精神的負担に配慮した。</p>	
③		<p>○ストローマットの片付け方法については、巻き取り方法や結節バンドの結節方法などの見本を提示してそれを見ながら確認して作業を進めた。</p>	
④		<p>○晴天の日のハウス内は湿度、気温が高くこまめな水分補給と体力の回復が必要であった。休憩中に支援者は一人ひとりに声をかけ、身体的及び精神的状態を確認した。</p>	

作業名	イチゴ畑の片付け④	作業期間	6月上旬から中旬
圃場位置	昭和町	作業環境	○トイレ：作業場 ○休憩場所：作業場
利用者の声	○室外作業は疲れましたが、水耕栽培では肢体の障害でも農作業ができることが分かりました。		
農業者の声	○頑張ってくださいました。この作業のほかに、開園中に定期的な清掃作業があるので今後お願いしたい。		
作業・支援内容			
①		○すでにイチゴの株の上方部は撤去してあるので地中の株（根）の撤去をする。土にはやしがらが混ざっており、意外としまった土質になっている。最初の取り掛かりを支援者が補助することでその後の作業がしやすい。	
②		○ハウス内の床面はシートが張っており、肢体の利用者さんが作業しやすい。また、作業場所の高さが胸の高さなので、作業もしやすい。 ○車椅子の場合、作業面が高くなってしまおうので対応することは難しい。	
③		○水耕栽培の外枠は、発泡材の板であるので破損しやすい。破損してしまった場合、水漏れ等が発生するので速やかに破損報告をしなければならない。片麻痺の方が力を入れて作業する場合の支えとして外枠を活用できないので、イチゴ株の片方の土を掘り、掘った方向にイチゴ株を引っ張ると抜けやすくなり、型枠を支えにしなくてもよい。	